

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 4 巻第 15 号

第 15 週(4 月 5 日~4 月 11 日)

発行年月日:平成16年(2004年) 4月 16日

発行 行 :滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (15週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (15週)	全国 (15週)	滋賀	全国 ^(*)
1 類 感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2 類 感染症	細菌性赤痢	0	4	101	7	459
	腸チフス	0	1	9	0	60
	パラチフス	0	0	8	0	38
3 類 感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	134	8	2635
4 類 感染症	エキノコックス症	0	0	9	0	17
	オウム病	0	0	6	1	44
	ツツガムシ病	0	0	52	2	380
	レジオネラ症	0	0	25	1	143
5 類 感染症	アメーバ赤痢	0	3	154	3	504
	ウイルス性肝炎	1	1	66	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	46	3	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	14	0	52
	後天性免疫不全症候群	0	1	246	8	949
	梅毒	0	2	124	2	493
	破傷風	0	0	12	1	69
	急性脳炎	0	0	7	0	98

(*1) 平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.45	0.18	0	0	0.63	2.29	0	0	■ 15週 ■ 14週
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.48	0	0.33	1.00	2.00	0	0	0	
感染性胃腸炎	6.82	13.00	13.00	5.00	2.20	3.75	1.20	2.00	
水痘	1.21	1.29	1.67	0.75	1.00	2.00	0.60	1.00	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.27	0.57	0.50	0.50	0	0	0	0	
突発性発疹	0.48	0.57	0.83	0	0.20	0	0.80	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
麻疹	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.48	0.43	0.33	1.50	0	0.50	0.60	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 2 4 6 8
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

インフルエンザの発生はほぼ終息 A群溶連菌咽頭炎の発生は減少傾向

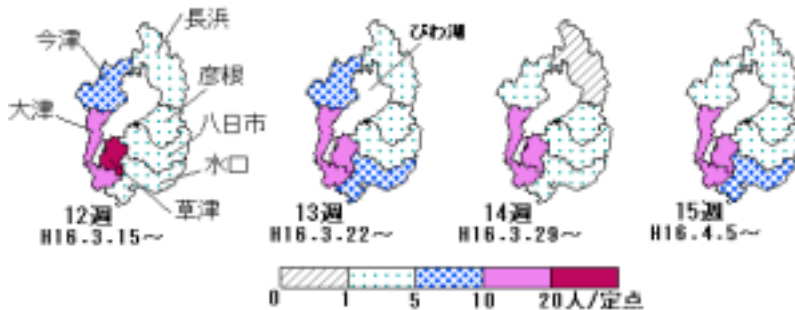
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(3月29日～4月4日)の報告数よりさらに減少していますがヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎、麻疹の発生がみられます。また、感染性胃腸炎、突発性発疹、流行性耳下腺炎等の発生は先週より増加し、A群溶連菌咽頭炎、水痘、マイコプラズマ肺炎等の発生は減少しています。

インフルエンザについては、第6週の定点当たり患者数(35.55)をピークに減少傾向を示し、第15週の定点当たり患者数は0.45となり終息に近づいています。

A群溶連菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数0.97より減少し0.48となり、昨年と同時期と比較すると少なくなっています。全国の発生状況(第14週)についても減少傾向となっています。

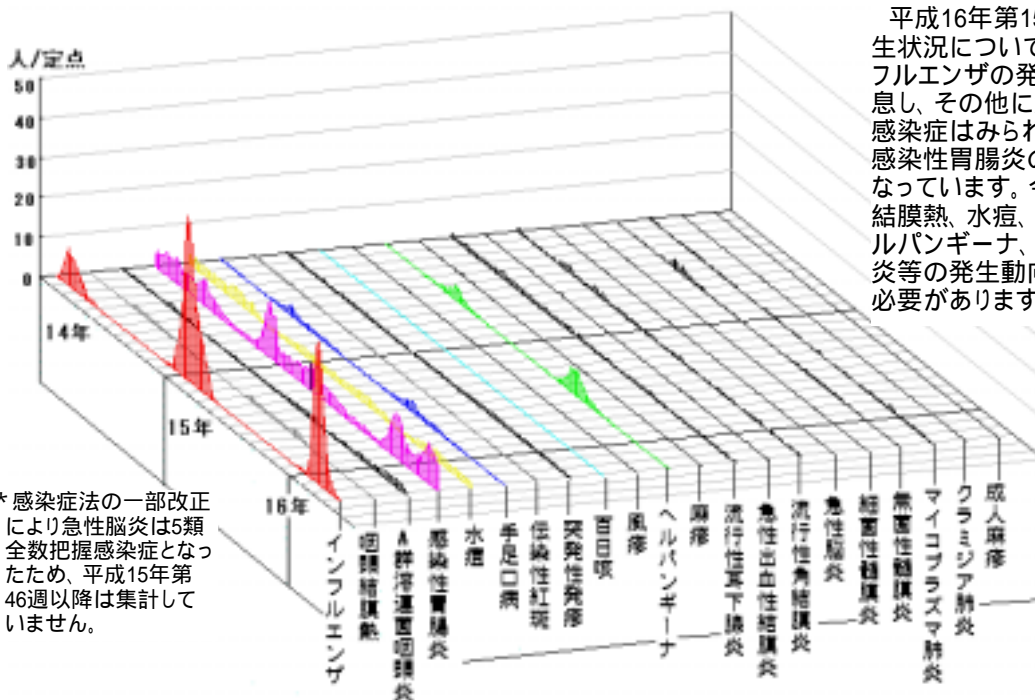
感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数より増加し6.82となり、特に、**大津保健所**管内の定点当たり患者数は、先週の10.71より増加し13.00となっています。また、水口および長浜保健所管内においても先週より増加しています。

感染性胃腸炎の週別発生状況(平成16年第12週～第15週、H16.3.15～H16.4.11)



感染性胃腸炎の第12週～第14週の定点当たり患者数は減少傾向を示していましたが、第15週についてみると大津、水口、長浜保健所管内の定点当たり患者数は前週より増加しています。十分な手洗いをするなどの感染予防についての注意が必要です。

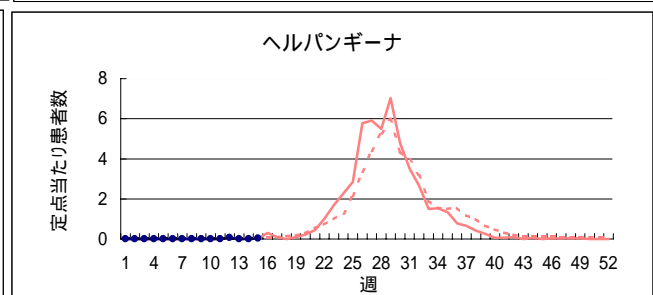
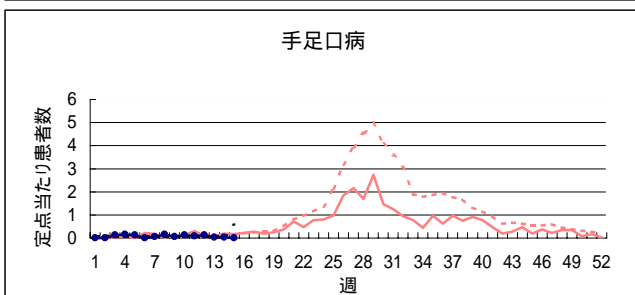
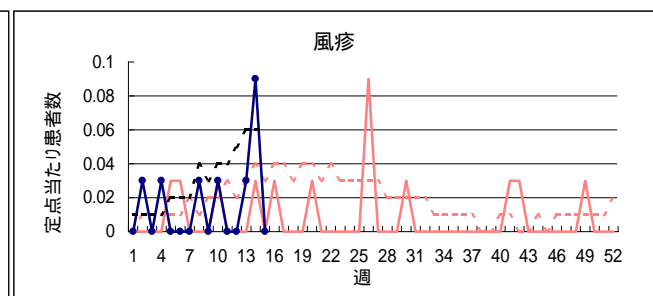
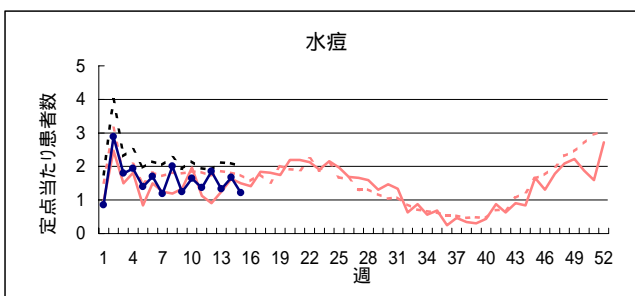
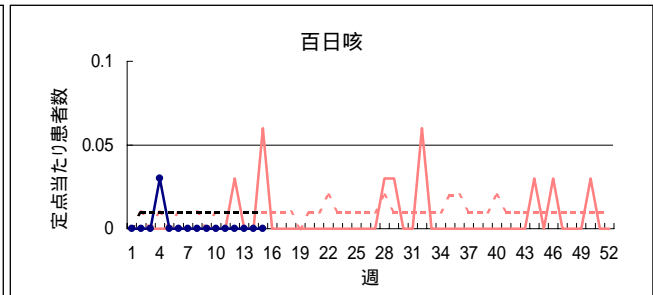
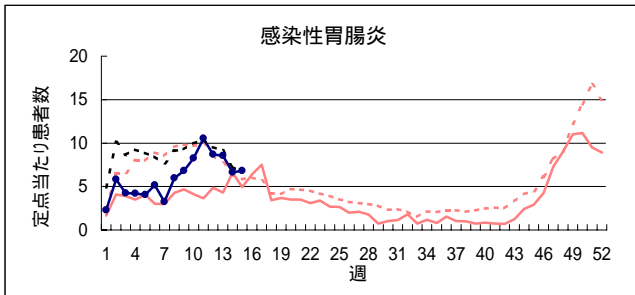
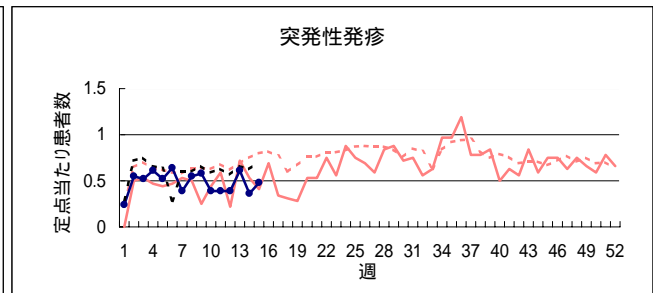
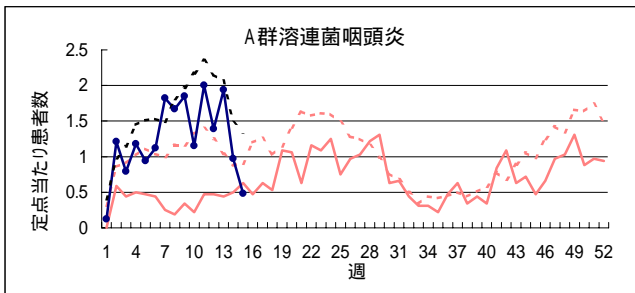
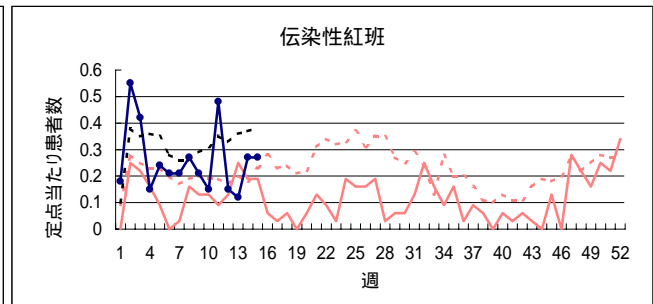
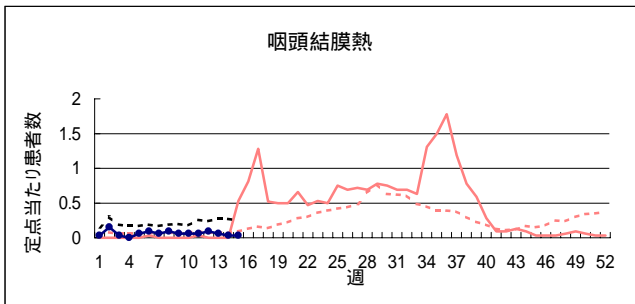
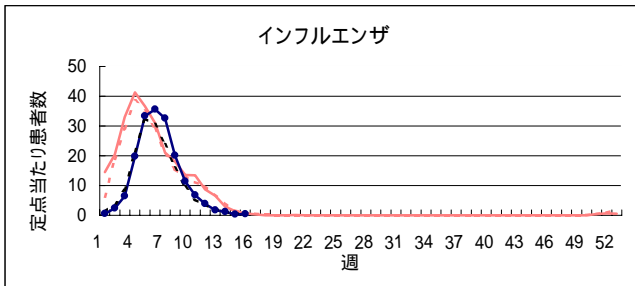
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況(平成14年第1週～平成16年第15週)



平成16年第15週現在の発生状況についてみると、インフルエンザの発生はほぼ終息し、その他に流行している感染症はみられませんが、感染性胃腸炎の発生は多くなっています。今後は、咽頭結膜熱、水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎等の発生動向に注意する必要があります。

* 感染症法の一部改正により急性脳炎は5類全数把握感染症となったため、平成15年第46週以降は集計していません。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第15週、H15.12.29～H16.4.11)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第15週、H15.12.29～H16.4.11)

H15 [滋賀 ———— 全国] H16 [滋賀 ●——● 全国]

